

富士山須走口インフォメーションセンターの概要

【施設の位置づけ】

- 富士山須走口インフォメーションセンターは、富士箱根伊豆国立公園第1種特別地域・世界文化遺産である富士山須走口五合目における利用拠点施設として、関東地方環境事務所が整備したもの。
- 登山道に面し、バス転回場と公衆トイレが隣接する配置計画となっており、富士山への理解を深めて安全登山を促す案内所機能を有し、噴火や悪天候時の一時避難施設も兼ねる。
- 内部機能は、本施設の中核を成す上記案内所に加え、バスチケット売場、登山期間中に設置される臨時派出所の3つから構成される。
- 案内所には、中央の富士ヒノキの椅子をぐるりと囲むように、ルート上の気象情報、落石情報、混雑具合など、「富士山の”今”がわかる」展示、登山、ハイキングや散策など、多様なニーズに対応した「利用者の”ほしい”」情報がある展示といった2つの特徴を持った展示が並ぶ。
- これら展示物は、利用者へ一方的に情報が提供されるのではなく、登山や周辺散策をした利用者自身が、体験したり感じたりしたことを常時書き込める双方向の展示とした。

所在地：静岡県駿東郡小山町須走（富士山五合目）

開館時期：4月下旬～10月下旬（初年度は7月～）

開館時間：開山期（7/10～9/10） 6:00～19:00、その他の期間 8:30～16:00

敷地面積：198.16 m²

建築面積：117.0 m²

構造構造：鉄筋コンクリート造、1階建

（富士山噴火時に降り注ぐ噴石や、富士山特有の強風に耐えうる仕様）

事業費：179.9百万円

建設経緯：平成30年度 基本構想策定

令和1～2年度 基本設計

令和2年度 実施設計

令和3～4年度 建築工事、外構工事、展示工事

令和5年7月10日 オープン（予定）

【外観】



【内観】 展示スペース



【構成】

